

関東大震災と人権侵害

地域人権教育指導員
末永知恵美

関東大震災

あなたの身近に外国につながる人を持つ人は住んでいませんか。大きな災害などが発生したとき、助け合って避難行動がとれますか。

9月1日は防災の日です。1923年9月1日11時58分に発生した関東大震災の教訓から設定されました。マグニチュード7.9の本震の直後に、同規模の余震が2回発生した地震災害です。

当時は台風の接近中で強風が吹く中、かまどや七輪で昼食の準備をしていた時間ということもあり、木造家屋が密集した都市部で火災が多発しました。広大な更地に避難した人々は、火災旋風(いわゆる火柱)の犠牲になり、死者・行方不明者の数は10万5千人にのぼりました。

かろうじて助かった人たちは、炊き出しや住居支援、衣服の提供などお互いに助け合いました。被災者でありながら、同時に救護者でもありました。「困ったときはお互いさま」という共助

の心がありました。

一方で、このような混乱した状況下では、不安や恐怖心から不信感や差別意識などの本音が表出し、群集心理が拍車を掛けます。

「朝鮮人が井戸に毒を入れた」

このデマを信じた大勢の人々が、「朝鮮人」とみなした人を虐殺しました。これまでのさまざまな資料や研究によると、この状況に至った背景には、日本と朝鮮の関係の悪化がありました。朝鮮併合から13年、10万人強の朝鮮半島出身者が炭鉱や土木建築工事などの危険性の高い仕事に従事しており、日本人との対立や騒ぎ、殺人などの事件が多発していました。

新聞報道などでも在日韓国・朝鮮人への蔑称や偏見に満ちた記事が書かれ、「朝鮮人は何をするか分からない」という画一的な先入観を植え付けました。震災2日後には戒厳令が出され、当局は住民に自警団の組織づくりを命令しました。そのよ

うな社会情勢下では、蓄積した不満や差別意識が噴出してもおかしくはありません。個人が持つ差別感情に加えて、それをあおっていた当局や報道の責任が大きく問われます。

命が脅かされる状況下では、個を超えたより大きな力や集団の力に支配され、虐殺さえも起こり得るのです。

あなたは大丈夫？

もしも、あなたが当時の状況にあったとして、個として正しく判断し行動することができるといえるのか。これから先の未来はどうでしょう。

いざというとき、自分と他者の命・人権を同じ重さで大事に守ることができるのでしょうか。日常の人権意識ではないでしょうか。

特に、外国につながる人を持つ人との関係はいかがでしょうか。大丈夫ですか。



◆シリーズ◆ 南北朝・菊池一族歴史街道 ②④

【問い合わせ先】観光振興課 ☎0968(25)7223

福岡県八女市

◆五條家御旗祭

八女市黒木町には、南北朝時代に懐良親王や良成親王に仕えた五條家の血筋が今も続いています。五條家の人々は、「守部」として八女市矢部村の大仙公園内にある良成親王の墓を守り続けており、700年にわたり南北朝時代ゆかりの宝物を受け継いできました。

◆大仙公園祭

良成親王の御命日とされる10月8日には、「大仙公園祭」が墓前で執り行われます。この祭では、この地で亡くなられた親王の御霊を慰めるため、公卿唄や浦安の舞が奉納されます。市民や地域の皆さんが参加し、良成親王の遺徳をたたえ、その業績を偲ぶ厳かな祭典となっています。



9月23日 五條家御旗祭

今年の五條家御旗祭の詳細はホームページから →



10月8日 大仙公園祭

大仙公園祭の様子を動画で見ることができます →



登壇者 安部龍太郎さん
五條元滋さん
(五條家第25代当主)

参加費 無料(要申し込み)

ところ げんき館おおぶち
(八女市黒木町大淵3998)

とき 9月23日(火) 午後1時～

先着15人を御旗祭午前10時とトークセッションへ案内します。市役所発着で、送迎無料です。昼は軽食の提供あり。



【問い合わせ先】菊池市消費生活センター ☎0968(36)9450
(月)～(金) 午前10時～正午、午後1時～4時(福祉課)

ニセ警察詐欺にご注意！

自宅の固定電話や携帯電話に、警察官を名乗り「あなたの銀行口座が犯罪に使われている」「あなたの携帯電話が犯罪に利用されている」などと言って、「資産を保護する」「口座を調査する」とさまざまな理由を付け、現金を振り込ませようとするニセ警察詐欺の手口が増加しています。

一つでも当てはまる場合や怪しいなと思ったときは、電話やビデオ通話を切り、最寄りの警察署へ相談ください。

また、相手から教示された番号に決して折り返しの電話をかけないでください。

「電話で『お金』詐欺」
警報発令中！

県内では、詐欺の被害が前年比3倍と急増し、警報を発令しています。被害を防止するため、次の対策を心掛けましょう。

- ①「十」で始まる国際電話や非通知の着信は無視する。
- ② 電話の相手がお金の話したら詐欺だと疑い、「警察に連絡する！」と言って電話を切る。
- ③ 相手が息子や警察官だと言っても、いったん電話を切り、家族に電話をかけ直すなど自ら確認する。
- ④ 知らない人に個人情報や不安な場合には警察や消費生活センターにご連絡ください。

地域おこし協力隊通信

地域に根差した
さまざまなデジタル講座を開催！

■スマホ講習会(1月15日・17日)

総務省のデジタル活用支援推進事業を活用し、4地区の公民館でスマホ講習会を開催しました。マイナンバーカードを使った医療費の確認や、著作権や肖像権などに関するデジタルリテラシーについての講習を実施。スマートフォンに関する不明点や質問に対して、個別の対応も行いました。

■デジタルリーダー育成講座(1月31日)

スマートフォンの操作を教わる人から教える人になるための講座を中央公民館で開催しました。デジタル技術を適切に使いこなすための方法や通信の種類など、参加者から要望のあった内容について説明。スマートホーム製品の活用方法も併せて紹介しました。

vol.81 || 菊池デジタル推進コーディネーター

山脇はるかさん

■子どもプログラミング講座(3月26日)

子どもプログラミング講座を中央公民館で開催。実技形式で、Scratch(スクラッチ)というビジュアル言語(コードを書かなくていいプログラミング言語)を使って図形を描画したり、Python(パイソン)というプログラミング言語で、数値計算した値や結合させた文字列を出力するプログラムを作成したりしました。

Pythonに興味はあったものの初めて学んだ児童・生徒が多く、アンケートでは「これからもプログラミングを続けていきたい」といった声をいただき、とても有意義な講座を開催することができました。

【問い合わせ先】情報政策課 ☎0968(25)7249

